

「勇者の旅」に参加された方・保護者の皆様へ

2024年4月9日

千葉大学子どもこころの発達教育研究センター

現在、千葉大学子どもこころの発達教育研究センター、中国の華南師範大学、英国のオックスフォード大学で国際共同研究を行っています。この研究では、日本と中国の子どもの不安症状に関して国際比較を行います。子どもこころの健康問題への支援に役立てることを目的に、この研究では以前に千葉大学で行われた「勇者の旅」研究または華南師範大学で行われた「青年期の心理的問題の調査」研究に参加していただいた方の背景情報と質問紙の情報を利用させていただきます。質問紙の情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「日本と中国の子どもの不安症状および情緒・行動の国際比較」

2. 研究の意義・目的

この研究では、日本と中国の子どもの不安症状や情緒・行動の問題を比較することを目的としています。日本と中国の子どもの不安や情緒、行動の問題がどのように異なるか分かることで、今後アジア圏の子どものメンタルヘルスの問題を治療・予防するためのプログラムの開発や評価に役立つことが期待されます。

3. 研究の方法

日本のデータは千葉大学で行われた「不安への対処法を養う予防教育プログラム『勇者の旅』の学校現場における授業実践効果の検討」研究、中国のデータは華南師範大学で行われた「青年期から成人期初期における心理的問題の変容」研究に参加していただいた方の下記の情報を使用いたします。

1. 子どもの背景情報(年齢、性別)
2. 保護者の背景情報(年齢、性別、子どもからみた続柄、最終学歴)
3. スペンス児童不安尺度(子ども評定、保護者評定) 日本語版
4. 子どもの強さと困難さ尺度 日本語版

4. 個人情報の取り扱いについて

この研究で使用する情報は、特定の個人を識別できないように加工された状態で千葉大学子どもこころの発達教育研究センターと華南師範大学にそれぞれ保管されています。

そのため、個人が特定されるような情報が公表されることは一切ありません。日本のデータは千葉大学子どものこころの発達教育研究センター内、中国のデータは華南師範大学の機密保持室内の鍵のかかる場所で保管されています。

5. 外部への試料・情報の提供

この研究で使用するデータは、千葉大学（日本）、華南師範大学（中国）、オックスフォード大学（英国）で共有されます。データはパスワードをかけた上で、クラウド上で共有され、他の国のデータについて各機関では保管しません。使用するクラウドサービスは暗号化や二段階認証、アクセス制御などのセキュリティ対策が行われています。共有されたデータは、研究結果公表後すみやかにクラウド上から削除します。千葉大学と華南師範大学で収集されたデータは、オックスフォードの統計解析を専門とする研究者と共同で統計処理されます。なお、各国でのデータの取り扱いについては、中国では「個人情報保護法」、英国では「英国一般データ保護規制（UK GDPR）」という個人保護に関する法律に準拠します。

6. 研究組織

研究代表機関

千葉大学	子どものこころの発達教育研究センター	清水栄司
	子どものこころの発達教育研究センター	浦尾悠子
	大学院医学研究院 認知行動生理学	馬場詩央里
	子どものこころの発達教育研究センター	大川 翔

共同研究機関

中国	華南師範大学心理学部	王 東方
英国	オックスフォード大学精神科	陳 慧琳

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

本件のお問合せ先 : 大川 翔

043 (226) 2975 so_dale89@chiba-u.jp

研究代表者 : 清水 栄司

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。